

Housing Market News

2017 vol.3

2|17 ▶ 3|16

 東京ガス株式会社
 新築戸建住まいの提案センター
 TEL. 03-5400-3896
 受付時間：平日（土日祝除く）8:45～17:30
<http://biz.tokyo-gas.co.jp/kodate/>

今月のトピック解説

TOPIC

ネット通販増加で、戸建向け宅配ボックスの提案が活発化

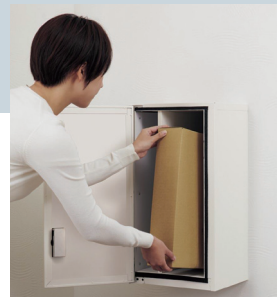
ネット通販利用者の増加を受け、戸建住宅向け宅配ボックスの提案が活発化している。例えば、パナソニックは4月から新たな郵便受け一体型の宅配ボックス「COMBO-int」の販売を開始する。住宅の玄関の壁に埋め込むタイプとすることで、家の中にいながらにして、郵便物や宅配物が取り出せる。パナソニックの2016年度の宅配ボックスの販売数は前年度比で約2倍に急増しているが、今回、新商品を投入したことで、2018年度には2015年度比で約10倍となる3万台の販売を目指す。

大和ハウス工業はエクステリアメーカーのナスタと共同開発した郵便ポスト一体型宅配ボックス「Qual-D」を越谷レイクタウンの戸建分譲住宅地「セキュレアシテイレイクタウン美来の杜」に導入する。戸建住宅住宅地に一体的に宅配ボックスを導入するのは業界で初めてだという。また、2017年6月以降は、郵便局で事前の手続きを

すれば、宅配ボックスへ日本郵便の書留郵便物の配達も可能になる。

栓家ホールディングスも戸建住宅の玄関に埋め込むタイプの宅配ボックス「留守番ポスト」をナスタと共同開発している。

にわかに注目を集めている戸建て向けの宅配ボックスだが、普及に向けた課題も残されている。例えば、戸建て向けの宅配ボックスについては、一度荷物を入れると扉がロックされてしまうため、複数の配達に対応していないという問題が指摘されている。また、設置コストの問題もある。今後はこうした課題を踏まえた商品開発も求められそうだ。



パナソニックエコソリューションズ社の宅配ボックス「COMBO-int」は家の中にいながらにして、郵便物や宅配物が取り出すことが可能

今月のトピック解説

TOPIC

国交省、既存住宅の新ラベリング制度で最終案

国土交通省は第3回の流通促進に寄与する既存住宅の情報提供制度検討会で、既存住宅の新たなラベリング制度の取りまとめ案を公表した。同検討会では、従来の既存住宅のマイナスイメージを払拭し、消費者が住みたい・買いたいと思う「新たな既存住宅」のあり方を示すために、品質・性能・見た目の良い既存住宅に対する統一的なラベリング制度の検討を行ってきた。ラベリングの名称案については、最終的には「安心R住宅」になった。既存住宅のラベリング制度であることを示すため、「R」に「Reuse（リユース）、Reform（リフォーム）、Renovation（リノベーション）」の意味を込めた。

「安心R住宅」のラベルの付与については、国が登録した一般社団法人などの事業者団体を通じて行われる。登

録団体は団体内の会員からラベル利用の申請を受け、要件を満たしていれば会員にラベル利用の許可を与える。事業者団体は会員が販売した「安心R住宅」の購入者からの相談を受け、相談内容を会員に通知する。また、会員への指導・支援を行うとともに、会員からの実施状況の報告を受け国へ報告する必要がある。国は各事業者団体から寄せられた満足度調査の結果を取りまとめ、随時、ラベリング付与のための要件の見直しを行っていく。

今後、4月以降に制度を確定し夏頃告示化を図る予定。また、告示化のタイミングで説明会も開催しながら、事業者団体の登録受付を行っていく方針。制度の運用開始時期については、登録事業者団体の準備に相当の時間を要する可能性があるため、現時点では定めていない。

NEWS

今月の主なニュース

2|17

3|16

- ▶ [積水ハウス 中期経営計画を策定 新事業領域、国際事業の拡大を目指す](#)
- ▶ [三井ホーム 住宅業界最高レベルの高遮音床を開発 床衝撃音を4分の1に軽減](#)
- ▶ [リンナイ スリムタイプのガス給湯暖房用熱源機を一新 軽量化によりさらに施工性が向上](#)
- ▶ [積水ハウス IoTのセキュリティでNTTデータなどと連携 11社のアライアンスを結成](#)
- ▶ [三協立山 三協アルミ社 シンプルなデザインの歩行者用補助 手すりを提案 アプリローチの段差に合わせた納まりにも対応](#)
- ▶ [タマホームグループ 新木造住宅ブランドの宿泊型 モデルハウスを鎌倉に開設 夏には立川にも予定](#)